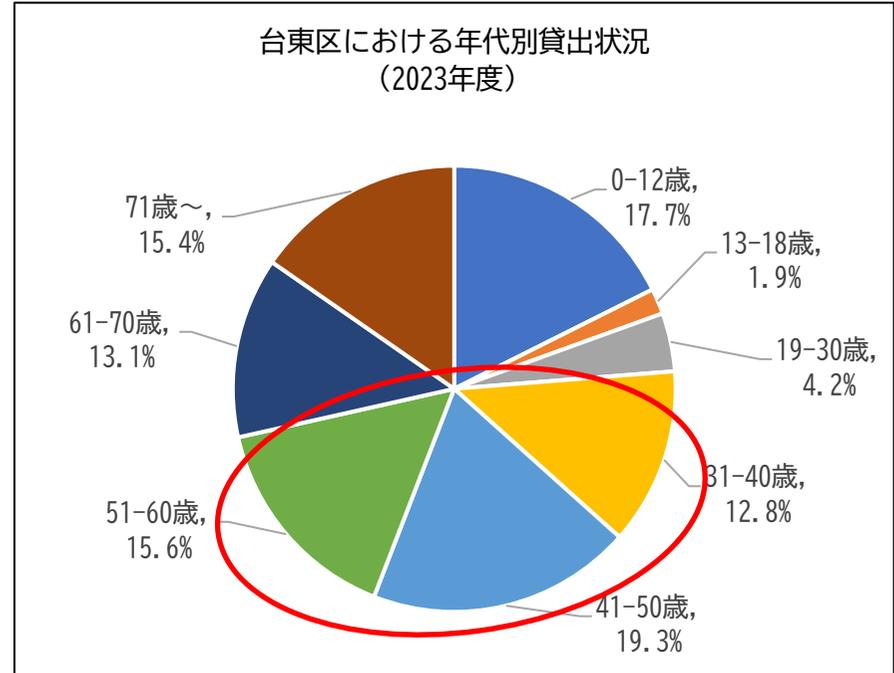
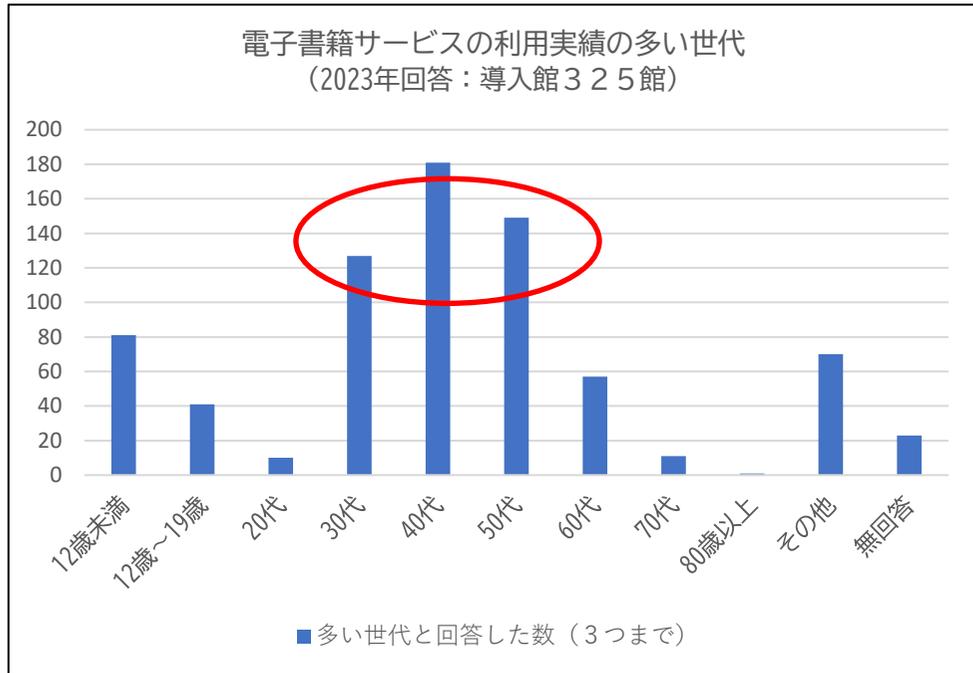


【電子書籍サービスを提供する主なターゲット】

主な対象者	コンテンツ導入の効果	コンテンツ		
		収集コンテンツ	導入時コンテンツ数	割合
【児童】 小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・区立小中学校の全児童生徒に電子図書館のIDを配付することで、GIGAスクール端末から電子書籍へのアクセスが可能となるため、より多くの利用が見込まれ不読率の解消につながる。 ・学校での朝読書や調べもの学習に活用できるため蔵書数に限りのある学校図書室を補完できる。 ・休館・休校などの非常時においても読書ができる環境を提供できる。 	読み放題パック（読み物・調べ物資料）を中心に収集	約820冊	54.3%
【一般】 30～50代	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ニーズが高く、かつ電子書籍の利用が多く見込まれる層にアプローチできる。 	ビジネス書、実用書、小説・エッセイを中心に収集	約690冊	45.7%
【読書困難者】 障害者など	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の拡大や音声読み上げなどの機能を備えているため、障害者など通常の読書が困難な方の判読性の向上が望める。 	上記対象者向けの資料を購入する際に、文字の拡大や音声読み上げなどを備えた資料を収集する。		



『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2023』より

